

序

本号は ME に関しての特集であるが、ME という用語は医学 (Medicine) と電子工学 (Electronics) との結びつきを意味し、さらに新しい医学技術という概念をも含んでいる。

この言葉はそれほど耳新しいものではない。既に ME 学会が発足してから 20 年近くになり、その間、機械工学、化学工学、材料工学、人間工学などとの docking, さらには生物学的知識の導入など種々の変遷をへて今日的な発展をとげてきた。そのため BME (Bio-Medical Engineering) や MBE (Medical and Biological Engineering) など新しい用語も使用されるに至った。

実地臨床では種々の医療機器や医療材料の開発、さらには新しい医療技術の確立ないし医療システムの実用化など、多大の恩恵によくしている。

ここでは、耳鼻咽喉科 ME の進歩と題してそれぞれの専門分野から執筆を願った。勿論代表的なものに限定せざるを得なかったが、現実には数多くの研究者がこれに参画している。

そのため今後急速にその発展が期待され、やがて巨大な規模の情報が患者と医師との間に介在してこよう。そこには常に安全性と信頼性が要求されるが、さらに患者—機械—医師との間に新しいモラルの確立が要望されよう。

(編集委員)